

団体名：特定非営利活動法人 シェア・マインド

助成額：97,040 円、助成回数：3 回

【「未来につなぐ募金」助成事業活動の目的】

居場所の無い子ども、孤立した子どもを含む総ての子どもが参加できる食育の機会を作る。子ども自身も調理に参加できる事で達成感を得ると共に、主体性を発揮できる場とする。同時にフードバンクという食のセーフティを身近に感じてもらう場所とする。また、近隣のボランティアの協力により地域密着型の食育・啓もう運動を推し進められる。

【「未来につなぐ募金」助成事業活動のまとめ】

居場所の無い子ども、孤立した子どもを含む、総ての子どもが参加できる、食育の場を作る事を目的としました。助成利用させて頂き、当 NPO では成しえなかった、沢山の素敵なメニューを作る事が出来ました。私達の考える食育とは、子ども達が一緒に調理を出来たり、一人一人が主体性を発揮し、「今日、なに作る？」という、食材からの豊かな発想が出来る事です。従来活動の中で、家計が厳しい家庭の子どもほど、コミュニケーションの機会が限られ、社会経験で遅れをとっている様子が見受けられました。一人一人に健やかな食生活を知ってほしいという想いで、食育イベントを開くようになりました。しかし、想いとは裏腹に、限られた資金繰りの中で開催する食育の場は、毎度ボランティアの頭を悩ませるものでした。配慮の必要な子ども達からは、代金を頂く事が出来ないからです。そのため、選ばせて頂きました食材や雑貨の一つ一つに、大変に支えて頂きました。助成で選ばせて頂いたのは主にイベント用の食材や雑貨でしたが、冷凍保存の出来る物は、毎週土曜開催の『あさめし食堂』でも使わせて頂きました。3 回の助成利用で、のべ 400 名以上の方に、充実した献立を楽しんで頂き、その多くの食材を用い、子ども達と一緒に 1 から調理をする事ができました。「今日は何作るの?」「冷凍庫開けていい?」「何か私達にも作れるのある?」と、豊かな食材達は、子ども達の好奇心を大いに刺激したようです。イベントの際も、我先にと様々なレシピを開発していました。上質な食材の数々に、大人の参加者も、「美味しい! どういう食材で料理したの?」と質問して頂きました。また、主な感想では、「お残りの食べ物も、上手に組み合わせると立派なお料理だね!」というものや、「みんなで食べるって楽しい。今度友達も連れてきて良い?」「今日のパエリア美味しい。次はトマト味と一緒に作ろう」など、居場所の楽しさや、今後の参加に繋がる感想を沢山頂いています。楽しく充実した食育や居場所作りが実現できました事に、感謝が尽くせません。当初考えていた食育イベントや食堂よりも、より華やかで充実した居場所になった事は、間違いがありません。また、配慮の必要な家庭だけではない方々にも関心を持って頂いた事で、より多くの方々、子ども達が交流を持てました。助成を受け食材を頂けるようになってからは、まず、子ども達や、ご参加の方達が楽しめる献立を最優先に考えられる事が、何よりも嬉しい事でした。従来開催しておりました『食品ロスを活用した食事』に関しても、助成食材を中心にマネジメントが叶

い、イベント開催の負担がとても軽く、むしろボランティア一同楽しみなものになり、より活動に熱を込められました。また、『食品ロスを活用する』というミッションで企画開催をする中、企業や個人宅から寄せられる食材はどうしても予測が出来ず、献立が限られてしまい、栄養としても偏りが出てきてしまいます。例えば、子どもの体にも大切な栄養となる肉や魚などのタンパク質は、余剰食材としては引き受けを制限せざるを得ません。そのため、この度3回に渡り様々な食品を頂けた事が大変嬉しく、今後の活動の励みになりました。今年度は私達のNPOが運よく助成対象に選んで頂けましたが、きっとどの団体、組織の方々も喜んで活用なさる助成だと思います。未来につなぐ募金を受け、より多くの方々、子ども達の平和の輪が広がっていく事を願っています。



東都生協未来につなぐ募金で購入した食品



東都生協助成金未来につなぐ募金で購入した食品2



お料理デモンストレーションに、興味津々。



次に、自分達で、パイを作ります。



ラザニア、ミラソーセージ、サラダ、パイが並びます。



ハロウィン仕様の料理や、カットフルーツサラダ。



出来上がったお料理を、各自プレートに盛ります。



美味しくできたお料理に、ニコニコ。

美味しく安全な食材協力があり、2018年10月27日に開催された『たべる！SDGS体験ワークショップ』は大人にも、子どものお客様にも喜んで頂きました。お屋の部、おやつの部で、延べ35名にご参加頂きました。